

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01229富良野市
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01229富良野市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	本市でも地学協働活動とCSの一体的推進を進めているが、その活動は一部の学校にとどまり、組織の形骸化と地域コーディネーターとなり得る人材の不足により、学校と地域の連携の不足や教員の負担の軽減が図られていない	地域学校協働活動推進委員とCS委員との合同研修会の実施 先進事例等の取組状況の情報提供 地域学校協働活動推進本部の組織体制の見直し	特定の人材に頼りきりにならない、または地域として課題意識を持つような、持続可能な体制づくり	各学校に配置されている地学協働活動推進委員がCSの中でも地域コーディネーターとしての役割をもって学校と地域をつなぐ人材育成を図る。	地学協働活動推進委員とCS委員を対象とした研修会の実施	1	件	1	1	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 地学協働活動推進委員とCS委員を対象とした研修会を1回開催できました。研修会后、参加者に「学校が主体で動くのではなく、地域コーディネーターが主体的に地域団体と学校を繋げて活動」という意識変化があったので人材育成を図る目標は達成できたと思います。課題としては、地域コーディネーターが学校とどのように地域学校協働活動を進めていくかが上がっています。	https://www.city.furano.hokkaido.jp/life/docs/9296.html?cat=/life/kyoikubunka/shakaikyoiiku/